



能美市立湯野小学校

学校だより

令和7年12月19日
NO.9 発行 学校長

1年を終えるにあたり～心通う1年～

9月1日（月）に始まった2学期も、残すところ数日となりました。あつという間に、学期末、そして年末です。

先日、今年の漢字「熊」が発表されました。振り返ると、保護者の皆様、地域の方々にご協力をいただきながら、「熊」に対応することができた1年でありました。改めてお礼申し上げます。

年末に発表される今年の漢字にあわせて、私は来年の漢字を考え新たな1年に臨むようにしています。思い起こすと、1年前に来年の漢字として考えたのは「話」でした。人と人が良好な人間関係を構築するには対「話」が必要だと考えます。対「話」を積み重ねることで、「心」が通じ合い、親和的な人間関係を築くことができると思うからです。今年は、4月より私を取り巻く環境が大きく変わりましたが、この変化をたくさんの方々の対「話」につなげることができました。たくさんの対「話」を通して、多くの方々と心を通わせることができたと感じています。

心通うたくさんの対「話」に、感謝申し上げます。
ありがとうございました。

学びの源は「早寝」「早起き」「朝ご飯」

「子供たちは落ち着いて、しっかり学びに向かっていますね。」

2学期、ご来校いただいた多くの方々からいただいた言葉の一つです。2学期には、文部科学省をはじめ、県教育委員会、市教育委員会、他校の教員など、多くの方々にご来校いただく機会がありました。その都度、授業における子供たちの学ぶ姿を参観していただき、上記の言葉をたくさんいただきました。

子供たちが落ち着いて学びに迎えている大きな要因の一つは、子供たちの生活習慣にあると思います。安定した生活習慣の継続にむけた保護者の皆様の日々の働きかけのおかけです。本当にありがとうございます。

年末年始は、安定した生活習慣が乱れがちになるともいわれています。子供たちだけではなく、我々大人にも言えることではないでしょうか。年末年始だからこそ、

「乱すのではなく整える」という気持ちで、子供たちと共に過ごしたいものです。

自戒の念を込めて・・・。



ご協力ありがとうございました ～学校評価(最終)にかかる保護者アンケート～

学校運営全般に関して多面的に評価し、改善の方向性の検討の一助とするために、保護者の皆様には、保護者アンケートにご協力いただきました。誠にありがとうございました。貴重な評価とご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げるとともに、今後校内で協議を深めながら、今年度の学校運営についての総括、並びに次年度の学校運営の方向性についての検討に生かしていきたいと考えています。

【いただきましたご意見について<一部抜粋>】

【ご意見】

インフルエンザや胃腸炎など、学校内で感染症等が流行っているときはその旨教えてほしい。

【学校より】

「医療機関で、学校の感染状況等について確認される際に答えられない」とのご意見もいただいている。感染症の拡大防止の観点から、感染状況に関する情報発信に努めていきたいと思います。あわせて、学校からのコドモンによる情報発信がない場合には、感染拡大傾向は認められないご理解ください。

『試行錯誤』を通して学ぶこと ～わくわくパーティー～

12月12日（金）児童会主催の「わくわくパーティー」を開催しました。1・2年生の子供たちは、お兄さん・お姉さんが準備してくれる「お店」を楽しみに当日を迎えていました。私も、いくつかの「お店」を体験し、童心に帰って楽しませてもらいました。

児童会役員をはじめ、3年生以上の子供たちは、「全校のみんなに楽しんでほしい」という思いをもち、11月から構想・準備に取り組んできました。リハーサルを通して、課題を見つけて改善を重ねるなど、『試行錯誤』しながら本番を迎えた学級もたくさんありました。

『試行錯誤』を繰り返しながら、児童が主体的に創り上げる活動とができる、「わくわくパーティー」の目的の一つを達成できたのではないかと思います。

子供たちにとって、失敗を通して学ぶ経験の積み重ねが大切だと考えます。子供たちは、子供たちの世界の中の小さな失敗を繰り返しながら、大人が教えることのできない多くのことを学びます。我々大人の役割は、「転ばぬ先の杖」を子供たちに持たせるだけではなく、転んだ時に寄り添い、また歩き出そうとする安心感と活力を持たせることです。『試行錯誤』のプロセスこそが、子供たちの自立に向けた一番の糧になると思います。

